

# エグゼクティブリーダー育成塾 『経営の設計学』2014年度

## 春学期

第1部: 価値創造プロジェクトのマネジメント  
第2部: リーダーシップと人材育成

2014年5月～7月隔週 全7回

第1部 17:30-19:00

第2部 19:15-20:45

休憩軽食 19:00-19:15

## 秋学期

第1部: ビッグデータによる全体最適経営  
第2部: 組織マネジメントとチームワーク

2014年10～12月 隔週全7回

第1部 17:30-19:00

第2部 19:15-20:45

休憩軽食 19:00-19:15

## 講師 宮田 秀明

東京大学名誉教授 社会システムデザイン(株)社長  
(株)東日本未来都市研究会代表理事

未来を拓くリーダーを育成します。

価値を生み出す正しい仕事の方法を  
獲得していただきます。  
正しい仕事の方法は職種によらず  
共通のものです。

リーダーになるためのマネジメント法を  
学びます。

講師は学問の世界では学士院賞・恩賜賞を  
授与されながら、ソフトウェア開発、高速船開発、  
アメリカズカップ、サービス科学、経営システム開発、  
二次電池社会システム普及、東北復興など多方面の  
実践プロジェクトに成果をあげてきた東京大学  
名誉教授です。

# エグゼクティブリーダー育成塾 「経営の設計学」目次

塾「経営の設計学」の狙い	1
講師紹介	3
内容とカリキュラム	
春学期 第1部 価値創造のプロジェクトのマネジメント	4
第2部 リーダーシップと人材育成	5
秋学期 第1部 ビッグデータによる全体最適経営	6
第2部 組織マネジメントとチームワーク	7
学ぶことと効果	8
スケジュール	9
対象者	10
参加費とお支払方法	11
参加お申し込み方法	12
お問い合わせ先	12
申込書	別添

隔週7回一回1時間半の講義と議論で構成されるコースが4つあります。春・秋学期各2コース。春・秋学期全4コースの履修を基本とします。春学期、秋学期どちらか2コースだけを履修しても構いません。春・秋学期全4コースの授業料は48万円です。春・秋学期の授業料は各学期24万円です。各コースの定員は15～20名です。東京都心で開講します。詳細は以下の頁をご参照ください。

## お問い合わせ先

一般社団法人強いリーダー育成研究会

事務局 TEL 042-339-2678 FAX 042-372-8980 E-mail [contact@tlik-jp.org](mailto:contact@tlik-jp.org)

WEBなどの情報 URL <http://www.tlik-jp.org>

## 講師紹介

### 宮田 秀明(みやたひであき)

松山市出身、1948年生まれ。1972年東京大学工学系大学院修士課程修了。石川島播磨重工業(株)を経て東京大学に勤務。

1978年工学博士。大学院工学系研究科システム創成学専攻を担当する。1994年より、同教授。2012年より「社会システムデザイン株式会社」代表取締役社長。東京大学名誉教授。

コンピューターサイエンス(CFD)、船舶システム開発、流体力学、技術マネジメント、経営システム工学、サービス科学、社会システム工学等を専門としている。いくつかの民間技術開発プロジェクトを主導し、ニッポンチャレンジ

アメリカズカップのテクニカル・ディレクターも努めた。システム創成学科の設立、東大MOTなどの教育改革にも携わる。

World Innovation Foundationフェロー。2010年より「一般社団法人二次電池社会システム研究会」代表理事。2011年より「東日本環境未来都市研究会」代表理事。

著書に「シリーズ数値流体力学」(共編共著、東京大学出版会)、「アメリカズ・カップ」(岩波書店、岩波科学ライブラリー)、「アメリカズカップのテクノロジー」(東大出版会)、「プロジェクトマネジメントで克つ」(日経BP)、「理系の経営学」(日経BP)、「仕事のやり方間違えてます」(祥伝社)などがある。2006年から2012年まで日経ビジネスオンラインに「経営の設計学」記事288編を執筆した。2011年日本学士院賞・恩賜賞を授与される。



## 春学期 第一部 価値創造プロジェクトのマネジメント

プロジェクトマネジメントを学ぶ。プロジェクトには定型的なものや創造的なものがある。前者も大切だが、大きな価値創造は後者によって行われる。大変難しいことだが、新しい商品の開発や、新しいビジネスモデルの獲得は、このようなプロジェクトによって達成される。社会と自然の正しい理解はスタート点である。社会も自然も複雑で非線形である。リーマンショックや東日本大震災は最も非線形なもの例である。ビジネスでは例えば顧客満足度もやはり同じである。これまでの思い込みを捨て、正しい創造のプロセスを回していくことができるようにしよう。創造のプロセスは現場を知り、ビジョンを持つことから始まるが、正しいコンセプトを獲得し、具体的なモデルに落とし込んでいく。間違ったコンセプトで成功することはない。ソリューションの段階より上流が大切なのだ。時間軸が伸びてしまった日本では、時間軸を縮めることは目の前の課題である。競争に勝たねばならないからだ。

- 第一回 社会・自然を理解する
- 第二回 思い込みの怖さ
- 第三回 創造のプロセス
- 第四回 コンセプト
- 第五回 モデル
- 第六回 ゼロベース思考と感動
- 第七回 短い時間軸

国の成長も、企業の成長も、人材が成長して達成される。社員が成長していないのに、企業が成長しているとしたら、それはバブルでしかない。人材育成はすべての組織の最優先課題である。企業は業績によらず、人材育成と設備投資と研究開発を継続しなければならない。人材を育成して、リーダーを育てることがリーダーの仕事である。リーダーシップは組織を構成するメンバーに120%の力を発揮させるような力だ。これを可能にするためには、リーダーは何をすればいいのだろうか？もちろんリーダーが相応の構想力や先見力を養っておかなければ、組織を間違った方向に向かわせてしまう。構想力はたくさんの現場プロジェクトの実践から養われてくる。いつまでも謙虚な気持ちを持ち、常に努力を怠らず、挑戦を繰り返していきたい。

第一回 人材育成の大切さ

第二回 リーダーシップとは

第三回 リーダーに必要な構想力

第四回 リーダーに必要な変える力

第五回 現場とビジョンの大切さ

第六回 賞賛の文化・いつまでも青二才でいる成長力

第七回 努力と集中と哲学がインフラ

経営とはたくさんの方程式を同時に解くことだ。しかもそれらの方程式の多くは解けない時間発展型の微分方程式のようだ。予想しない結果が次々あらわれたりする。これまでの経営は、難しい方程式が分からないままに、アナログの経験と目の前の数字によって、アドホックに行っている場合が多かった。そうするより仕方なかったのだ。しかし本当はコンピューターの進歩によって、複雑な方程式が分からないままでも、経営データを総合的に集めて、デジタル演算することによって、結果的に微分方程式を解いていることにできるのだ。これは大変難しいことのようにだが、工学の世界と違って、演算のほとんどは足し算引き算だから、答えは確実に導き出せる。情報統合(ビッグデータ)と未来予測によって、全体最適を実現するのだ。たくさんの具体例によって、この難しいテーマが実はあたりまえのことであることを理解してもらう。この理解はすべてのビジネスマンにとって最強の武器になることは間違いない。

- 第一回 デジタルが複雑非線形問題を解く
- 第二回 全体最適システム
- 第三回 システムのストラクチャーとメカニズム
- 第四回 経営シミュレーターと未来予測
- 第五回 物流・小売業のケース
- 第六回 製造業のケース
- 第七回 デジタル経営と創造的マネジメントの両方があれば最強

## 秋学期 第二部 組織マネジメントとチームワーク

間違ったコンセプトで行ったプロジェクトは確実に失敗する。同じように、間違ったチームで取り組んだ仕事は失敗するか、とんでもない苦勞を味わうことになる。組織の作り方とチームワークは経営にとって最も大切なことだ。人を生かす、人に最高出力をだしてもらう方法でもある。いかに人が力を発揮できないでいるか、悪い例が日本中に蔓延している。大企業ほどそんな例が多い。人が作る組織構造は行う仕事、プロジェクトによって違う。チーム構造はチームの行うべき機能によって違う。前半では、組織マネジメントの基本を学ぶ。後半では1995年にアメリカズカップヨットレースで勝利したチームニュージーランドのプロジェクトのキーになったチームワークを経営的に学ぶ。TeamThinkは材料に使う本である。講師も同じ体験をしたので、世界一になるという最も難しい仕事をベースに、組織マネジメントとチームワークの要諦を学習する。

- 第一回 組織の目的と環境
- 第二回 組織の構造
- 第三回 組織の機能
- 第四回 TeamThink(1)アメリカズカップの組織マネジメント(NZLとJPN)
- 第五回 TeamThink(2)
- 第六回 TeamThink(3)
- 第七回 いろいろなプロジェクトの例

# 学ぶことと効果

## 春学期

### 第1部: 価値創造のプロジェクトマネジメント

#### 1. 学ぶもの

価値創造、新しいビジネスモデルの獲得は如何にすべきか。そのためのプロジェクトマネジメントを学ぶ。社会も自然も経営も複雑で非線形である。現場を知り、創造のプロセスを如何に回すかを学ぶ。

#### 2. 自社でどう活用するか

・新商品・新ビジネスモデルの創造   ・中長期経営企画の作成   ・新規事業の運営

### 第2部: リーダーシップと人材育成

#### 1. 学ぶもの

リーダーシップの力、正しいリーダーシップのあり方を学ぶ。リーダーを育てることがリーダーの仕事である。メンバーに120%の力を発揮させるにはリーダーは何をすればよいのだろうか。

#### 2. 自社でどう活用するか

・正しいリーダーの育成   ・プロジェクト・組織の正しい運営   ・顧客満足度と社員満足度を高める

## 秋学期

### 第1部: ビッグデータによる全体最適経営

#### 1. 学ぶもの

これまでの経営は、アナログの経験と目の前の数字によってアドホックに行われてきた。経営データを総合的に集めて、デジタル演算することによって複雑、非線形な事象を解く。情報統合(ビッグデータ)と未来予測によって、全体最適を実現する。その最強の武器を習得する。

#### 2. 自社でどう活用するか

・中長期経営計画の正確な立案   ・ロスのない製造・物流・販売計画の立案・実施   ・全体最適経営システムの構築

### 第2部: 組織マネジメント

#### 1. 学ぶもの

間違ったチームで取り組んだ仕事は失敗するか、とんでもない苦労をする。組織の作り方とチームワークは経営にとって最も大切なことである。人が力を発揮できる組織の作り方、運営法を学ぶ。チーム構造は、仕事、プロジェクト、創造性の程度によって違う。組織マネジメントの基本と実践を学ぶ。

#### 2. 自社でどう活用するか

・組織編制と運用法   ・様々なミッションと適切なチームの作り方



# スケジュール

## 春学期

食事時間 19:00~19:10(軽食事務局で準備)

### 第1部 価値創造プロジェクトのマネジメント

開催時間 隔週木曜 17:30~19:00

第1回 社会・自然を理解する	5月8日	第2回 思い込みの恐ろしさ	5月22日
第3回 創造のプロセス	6月5日	第4回 コンセプト	6月19日
第5回 モデル	7月3日	第6回 ゼロペース思考と感動	7月17日
第7回 短い時間軸	7月31日		

### 第2部 リーダーシップと人材育成

開催時間 隔週木曜 19:15~20:45

第1回 人材育成の大切さ	5月8日	第2回 リーダーシップとは	5月22日
第3回 リーダーに必要な構想力	6月5日	第4回 リーダーに必要な変える力	6月19日
第5回 現場とビジョンの大切さ	7月3日	第6回 賞賛の文化・いつまでも青二才でいる成長力	7月17日
第7回 努力と集中と哲学がインフラ	7月31日		

## 秋学期

### 第1部 ビッグデータによる全体最適経営

開催時間 隔週木曜 17:30~19:00

第1回 デジタルが複雑非線形問題を解く	10月2日	第2回 全体最適システム	10月16日
第3回 システムのストラクチャーとメカニズム	10月30日	第4回 経営シミュレーターと未来予測	11月6日
第5回 物流・小売業のケース	11月20日	第6回 製造業のケース	12月4日
第7回 デジタル経営と創造的マネジメントの両方があれば最強	12月18日		

### 第2部 組織マネジメント

開催時間 隔週木曜 19:15~20:45

第1回 組織の目的と環境	10月2日	第2回 組織の構造	10月16日
第3回 組織の機能	10月30日		
第4回 TeamThink(1)アメリカズカップの組織マネジメント(NZLとJPN)	11月6日		
第5回 TeamThink(2)	11月20日	第6回 TeamThink(3)	12月4日
第7回 いろいろなプロジェクトの例	12月18日		

# 対象者

## 対象者

- ・職種を問わず向上心があり将来会社の中核を担う人材
- ・3～10年の職務経験のある方
- ・研究部門、事業部門、スタッフ部門、営業部門等各部門を担う人材
- ・役員、部門長、部課長、管理職を目指す方、次代を担うキーマン
- ・改革意識と責任感のある志の高い人

## 募集人数

各コース15～20人

(各コース10人以下の場合は中止する場合があります)

## 塾の進め方

- ・少数対面塾
- ・普通のセミナーでは伝えられない考え方、手法を指導します。
- ・参加者にプレゼンをしていただき、その課題に対応策を講師が指導します。

## 募集期間

2014. 1. 10～2014. 3. 31

# 参加費と支払方法

## 春学期

第1部 価値創造プロジェクト(全7回)

第2部 リーダーシップと人材育成(全7回)

## 秋学期

第1部 ビッグデータによる全体最適経営(全7回)

第2部 組織マネジメント(全7回)

## 参加費

参加費:春学期24万円、秋学期24万円

全春・秋学期参加費:48万円

(上記金額は消費税は含まれていません)

春学期、秋学期を全受講していただくことを基本とします。

春学期、秋学期どちらかのみ受講も構いません。

## 支払方法

参加申込時:参加費一括:48万円

参加申込時:春学期分24万円

秋期申込時9月末日:秋学期分24万円

振込先 三井住友銀行 多摩センター店 普通預金

口座名義 一般社団法人強いリーダー育成研究会

口座番号 1024064

## 参加申し込み方法

- ・末尾の参加申込書をお願いします。
- ・当法人の下記ホームページから申込書をダウンロードしてもできます。
- ・下記メールアドレス宛にメール添付でお申し込みもいただけます。
- ・下記アドレス宛にファックスでもお申込みいただけます。

## お問い合わせ

一般社団法人強いリーダー育成研究会

事務局

〒206-0033 東京都多摩市落合2-38-410

TEL 042-339-2678 FAX 042-372-8980

E-mail [contact@tlik-jp.org](mailto:contact@tlik-jp.org)

URL <http://www.tlik-jp.org>